

平成30年度（10月期）

金沢大学大学院新学術創成研究科
融合科学共同専攻
（修士課程）

学 生 募 集 要 項

金沢大学大学院新学術創成研究科

- 目次 -

出願手続きから入学までの日程	2
融合科学共同専攻について	3
1. 募集人員及び研究分野	5
2. 出願資格	6
3. 出願資格事前審査	7
(1) 提出書類	7
(2) 提出期間	7
(3) 提出先	8
(4) 審査の結果	8
4. 出願手続	8
(1) 出願方法	8
(2) 出願書類等	8
(3) 出願期間	10
(4) 提出先	10
(5) 出願及び受験にあたっての注意事項	11
(6) 障がいのある者等の事前相談	11
(7) その他	11
5. 入学者選抜	11
(1) 試験期日及び場所	11
(2) 選抜方法	11
(3) 合否判定基準及び評価基準	12
6. 合格者発表	12
7. 入学手続等	12
(1) 入学手続	12
(2) 入学時に必要な経費	12
8. 個人情報保護	12
9. 経済的支援制度	13
(1) 入学料免除	13
(2) 授業料免除	13
(3) 奨学金	13
10. 募集要項請求方法	14
11. 問合せ先	14
金沢大学角間キャンパスの所在地略図	15

出願手続きから入学までの日程

出願資格認定申請期間	平成30年5月21日（月）～25日（金）
出願期間	平成30年6月11日（月）～15日（金）
試験	平成30年7月14日（土）
合格者発表	平成30年8月10日（金）
入学手続	平成30年9月中旬
入学	平成30年10月

※平成32年4月には新学術創成研究科融合科学共同専攻に博士後期課程（3年制）を設置する予定であり、5年間を通した体系的な教育プログラム編成を構想しています。

『自然災害により被災された受験者の皆さまへ』

金沢大学では、自然災害等の被災者の経済的負担を軽減し、受験生の進学機会を確保するため、入学検定料免除の特別措置を講じます。対象となる自然災害及び被災地域など、免除に関する詳細につきましては、金沢大学 Web サイトをご覧ください。

金沢大学（入試情報）Web サイト: <https://www.kanazawa-u.ac.jp/education/admission/>

入学検定料の免除を希望される方は、出願前に本学学生部入試課までご連絡ください。

融合科学共同専攻について

金沢大学と北陸先端科学技術大学院大学は、将来が見通しにくい現代社会において、卓越した発想と行動力を基に、社会を力強く導いていける「科学技術イノベーション人材」を養成するため、融合科学共同専攻を設置しました。

イノベーションの源泉である「新たな知」の創造は、既存の科学分野を超えた、複数の科学分野の“融合”から生まれるとの考えから、異なる専門分野における学びにも積極的に挑戦する“異分野融合型大学院教育”を2大学共同で実施します。

なお、平成32年4月には新学術創成研究科融合科学共同専攻に博士後期課程（3年制）を設置する予定であり、5年間を通した体系的な教育プログラム編成を構想しています。

【融合科学共同専攻の特徴】

- (1) 学生は、主任研究指導教員（主として研究指導を担当する専任教員）が所属する構成大学に本籍を置き、本籍大学の主任研究指導教員及び他方の構成大学の副主任研究指導教員を含む複数の指導教員体制により教育研究・学生生活等の指導助言を受けます。本学に本籍を置く学生は、「1. 募集人員及び研究分野（5 ページ）」に記載された指導教員のうち1名が主任研究指導教員になります。
- (2) 本学にて、所定の課程を修めた者には、本学及び北陸先端科学技術大学院大学の連名により「修士（融合科学）」の学位が授与されます。なお、修了要件として、北陸先端科学技術大学院大学において10単位以上を修得する必要があります。
- (3) 北陸先端科学技術大学院大学が開講する科目については、北陸先端科学技術大学院大学のキャンパスに通学して履修することを原則としますが、メディアを利用した遠隔講義配信システムの活用や、集中講義形式による開講など、通学の負担を軽減する仕組みを導入しています。
- (4) 本学に本籍を置く学生も、北陸先端科学技術大学院大学の図書館等の施設・設備を利用することができます。ただし、一部の施設設備については利用制限が設けられている場合があります。

重要なお知らせ

1. 希望する主任研究指導教員との連絡について【必須】

出願（出願資格認定申請を含む。）に当たっては、必ず事前に、希望する主任研究指導教員と連絡をとり、研究内容等を確認してください。

2. 出願大学、受験大学及び本籍を置く大学について

出願及び受験については、希望する主任研究指導教員が所属する大学に出願し、当該大学で入学者選抜試験を受験し、入学手続を行うこととします。

本学にて出願、受験及び入学手続をした場合は、授業料等の納付、奨学金の申請その他の各種手続についても本籍大学である本学にて手続を行うこととします。

3. 出願上の注意について

融合科学共同専攻は2つの構成大学が1つの教育課程を共同で運営するため、構成大学の1つに入学手続を完了した者は、他方の構成大学の入学者選抜試験に合格しても入学手続を行うことはできません。

【入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）】

修士課程では、学士課程等で修得してきた分野の基盤的専門知識のほか、専門が異なる分野にも関心を持って他者との協奏的活動に取り組み、複雑で困難な問題を分野融合の力で解決し、社会の発展のための新しい価値を積極的に創造しようとする強い意欲を持つ者を受け入れます。

なお、本共同専攻は区分制大学院とすることを構想していますが、博士後期課程（平成32年4月設置予定）までの5年一貫型教育プログラムの履修希望者も積極的に受け入れます。

【目指す人材像】

グローバル社会のニーズや動向を察知し、様々な科学的知見と先端科学技術を基に、科学技術イノベーションに協奏的・共創的に貢献できる人材

【教育理念】

一 融合科学の促進 一

科学技術イノベーションに関連する複雑な社会課題の解決に向けて、既存の科学分野を超える枠組みの下で、“科学を融合する方法論”を探究・実践しながら、複数の科学分野の融合を促進させます。

融合科学の促進を実現するため、「3つの挑戦的なイノベーションの枠組み（3つのチャレンジ）」を設定するとともに、“科学を融合する方法論”を探究・実践するための基礎力として「4つのフォース（力）」を設定しています。その上で学生は、教員や学友、企業人など多様な他者と積極的に交流し、自ら融合科学を促進させます。

○ 3つの挑戦的なイノベーションの枠組み（3つのチャレンジ）

I：ライフイノベーション（健康的で質の高いライフスタイルの創出）

【キーワード】 個々の健康的なライフスタイルに資する生物学的・生体的機能の計測・解明・制御と、その応用

II：グリーンイノベーション（環境に適合した次世代型＜材料・デバイス・エネルギー＞の創生）

【キーワード】 自然エネルギー・再生可能エネルギーの創出、貯蔵、輸送／新素材やナノテクノロジーを利用した省エネルギーデバイス開発

III：システムイノベーション（科学技術と人や社会とが調和した未来社会の創造）

【キーワード】 ビッグデータや人工知能（AI）を活用した知的システムの開発／生物をヒントにしたシステム・機械の開発／自然環境や文化的環境等を踏まえた社会環境改善

○ 4つのフォース（力）

Force 1：データ解析する「力」

融合しようとする各科学分野の視点で、現象を表すデータを多角的に解析する「力」

Force 2：モデル化する「力」

融合分野の基礎に矛盾しないモデルを提唱する「力」

Force 3：可視化する「力」

他分野の人にも分かりやすい“図”を呈示する「力」

Force 4：デザインする「力」

他分野及び社会とのインタラクションを通して自己の提案を改変しながら、問題を解決していく「力」

金沢大学大学院新学術創成研究科融合科学共同専攻 (修士課程)

1. 募集人員及び研究分野

平成30年10月期入学：若干名

授与する学位：修士（融合科学）

指導教員の職・氏名	研究分野・キーワード
教授 後藤 典子	幹細胞生物学, がんの分子生物学, 分子標的, バイオマーカー, シグナル伝達
教授 高橋 智聡	腫瘍分子生物学, がん遺伝学, がん抑制遺伝子, がん代謝
教授 松本 邦夫	バイオテクノロジー, がんの生物学, 細胞増殖因子, 創薬, タンパク質工学
教授 鈴木 健之	分子生物学, 機能ゲノム学, ゲノム情報, エピジェネティクス, 転写制御
准教授 柴田 幹大	生物物理学, ナノバイオサイエンス, タンパク質, バイオイメーキング, 原子間力顕微鏡, 高速 AFM
教授 Richard Wong	細胞生物学, 分子イメージング, 核膜孔, 超解像顕微鏡, 生細胞イメージング
准教授 小川 数馬	核医学, 放射性薬剤, 分析化学, 癌, イメージング, 分子プローブ
教授 須釜 淳子	看護学, 健康, 看護理工学, 臨床研究, 加齢, 老化, マイクロバイオーム, スキンケア
教授 井上 啓	代謝学, 生理学, 食生活学, 糖代謝, 肝臓, インスリン
教授 佐藤 純	神経科学, 神経発生学, 数理生物学, 脳, 神経回路, カラム, ショウジョウバエ, 数理モデリング
准教授 河合 望	考古学, 文化遺産学, 博物館学, エジプト考古学, 文化遺産の保存と活用
教授 水野 元博	ナノ構造化学, 機能物性化学, ナノ構造解析, 超分子, 固体 NMR
准教授 菅沼 直樹	移動ロボット, 自動運転自動車, 知能ロボット, モーションプランニング
教授 坂本 二郎	設計工学, バイオメカニクス, 最適設計, 材料力学, 計算力学, CAE, 構造最適化, 骨, 筋骨格系, バイオイノベーティブデザイン
教授 當摩 哲也	エネルギーハーベスティング, 環境発電, 有機薄膜太陽電池, 有機デバイス, 分子配向制御, ナノ構造制御, 結晶性制御
准教授 仁宮 一章	木質科学, 農芸化学, 生物工学, 高分子化学, 木質バイオマス, バイオマスリファイナリー, イオン液体
教授 松井 三枝	臨床神経心理学, 精神神経科学, 認知脳科学, 記憶, 前頭葉機能, 神経可塑性, 統合失調症, 認知リハビリテーション
教授 小島 治幸	心理学, 認知科学, 脳科学, 知覚認識, 認知, 行動, 脳神経システム
教授 飯山 宏一	電子工学, 光エレクトロニクス, 計測工学, 光計測, 光通信, 光ファイバ, 波動信号処理

2. 出願資格

出願に際しては、必ず事前に、希望する主任研究指導教員に連絡し、受入れの了承を得てください。

次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 学校教育法（昭和22年法律第26号）第83条に定める大学を卒業した者及び平成30年9月30日までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者及び平成30年9月30日までに学士の学位を授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び平成30年9月30日までに修了見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定する当該課程を修了した者及び平成30年9月30日までに修了見込みの者
- (5) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び平成30年9月30日までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって文部科学大臣の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者（注1）
- (7) 文部科学大臣の指定した者
- (8) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成30年9月30日までに修了見込みの者
- (9) 学校教育法第102条第2項の規定により本研究科以外の大学院に入学した者であって、当該者を本研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの（注1）
- (10) 次の①から④に該当する者であって、本研究科が、所定の単位を優秀な成績で修得したと認めたもの（注1）
 - ①平成30年9月30日までに学校教育法第83条に定める大学に3年以上在学見込みの者（注2、注3）
 - ②外国において学校教育における15年の課程を修了した者及び平成30年9月30日までに修了見込みの者
 - ③我が国において、外国の大学における15年の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定する当該課程を修了した者及び平成30年9月30日までに修了見込みの者

- ④外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者及び平成30年9月30日までに修了見込みの者

(11)本研究科において、個別の入学資格審査により、出願資格(1)に定める者と同以上の学力があると認めた者で、入学時までには22歳に達するもの(注1)

- 注1. 出願資格(6)、(9)、(10)又は(11)により出願しようとする者は、出願前に個別に出願資格審査を行います。次項の「3. 出願資格事前審査」を参照してください。
- 注2. 出願資格(10)の①については、学校教育法の規定に基づき、大学に「編入学」した者(短期大学、高等専門学校、専門学校等を卒業した者などが対象)には、適用されません。なお、休学した期間は、在学期間を含めないものとします。また、以下の出願資格審査の要件を満たす必要があります。
- (ア) 出願時の成績証明書に記載されている修得単位数の9/10以上が80%以上の評価をされている者で、3年次末においても同様の成績基準を満たす見込みの者
- (イ) 4年次に履修すべき必修科目などを除き、平成30年9月30日までに卒業資格となるすべての単位を十分に余裕をもって修得する見込みの者
- 注3. 出願資格(10)の①により正規の課程を修了せずに入学者の学部学生としての学籍上の身分は、退学となります。したがって、各種国家試験等の受験資格で、大学の学部卒業(学士の学位)が要件になっているものについては受験資格がないこととなりますので、十分注意してください。

3. 出願資格事前審査

「2. 出願資格」の(6)、(9)、(10)又は(11)により出願しようとする者については、出願前に個別に出願資格審査を行います。

(1) 提出書類

- ① 本要項の「4. 出願手続(2) 出願書類等(8~10ページ)」の書類等。ただし、④入学検定料振込金証明書(提出用)を除きます。入学検定料は、出願資格審査結果通知により出願資格を有すると認定された後に振り込み、入学検定料振込金証明書(提出用)を出願期間内に提出してください。出願資格事前審査は、Web出願では受け付けません。郵送又は持参してください。
- ② 出願資格(10)の①により出願しようとする者のみ
- ア 推薦書(様式随意。厳封したもの。関係教員が記入し、学長又は所属長が推薦する。)
- イ 履修の手引等(授業内容一覧を含む。本学在学者は不要。)
- ウ 在籍期間証明書(休学期間を明記したもの。本学在学者は不要。)

(2) 提出期間

平成30年5月21日(月)から25日(金)まで

※受付時間は午前9時から午後4時30分までです。

郵送の場合も提出期間の最終日までに必着(期間最終日の前日の発信局日付印のある速達書留は有効)です。

(3) 提出先

〒920-1192 金沢市角間町
金沢大学学生部学務課新学術創成研究科係 TEL : 076-264-5971

※郵送する場合は、必ず、「速達書留」とし、封筒の表に「大学院新学術創成研究科修士課程出願資格審査申請書類在中」と朱書きしてください。

なお、募集要項の請求については、「10. 募集要項請求方法 (14 ページ)」を参照してください。

(4) 審査の結果

審査の結果は、申請者あて郵便により通知します。

認定された者は、入学検定料を振り込み、入学検定料振込金証明書（提出用）を出願期間内に提出してください。入学検定料振込金証明書（提出用）の提出をもって、出願手続きが完了します。

なお、入学検定料振込金証明書（提出用）以外の出願書類を改めて提出する必要はありません。

4. 出願手続

(1) 出願方法

- 出願は、Web 出願又は郵送・持参による出願により受け付けます。Web 出願については、同封の案内を参照してください。

(2) 出願書類等

- 所定の様式等については、巻末の各用紙に手書きしてください。様式1・様式2-①・様式2-②については、本研究科Webサイトからダウンロード後、印刷し記入することもできます。なお、必ず黒のペンかボールペンで記入してください（消せるものや時間の経過により字が消えるものは使用不可）。

URL : <https://gsinfiniti.w3.kanazawa-u.ac.jp/>

- 志願者は、下記の出願書類を一括して「(4) 提出先 (10 ページ)」へ提出してください。
- なお、地震、台風等により被災し、出願期限までに以下の書類が取り揃えられない等の場合は、「11. 問合せ先 (14 ページ)」に相談してください。

①	入学願書, 写真票, 受験票 【様式1】	本要項に添付の用紙に必要事項を記入し、写真（出願前3か月以内に、上半身、脱帽、正面向き、無背景で撮影し、無加工のもの、縦4cm×横3cm）を写真票の所定の位置に貼付してください。また、Web出願の場合は、入学願書に出願番号を記入してください。郵送・持参による出願の場合は、必ず「入学検定料振込金証明書（提出用）」を入学願書の裏面の所定欄に貼付してください。（国費外国人留学生を除く）
②	成績証明書	出身大学長、学部長又は出身短期大学長、高等専門学校長、学校長発行のもの 学業成績証明書に卒業（修了）又は卒業（修了）見込みであることが記載されている場合は、卒業（修了）証明書又は卒業（修了）見込証明書の提出は不要です。
③	卒業（修了）証明書又は 卒業（修了）見込証明書	注1. 短期大学専攻科又は高等専門学校専攻科の修了（見込）者は、専攻科及び本科両方の証明書を提出してください。 注2. 外国の学校の修了（見込）者は、日本語又は英語で作成された証明書を提出してください。

④	<p>入学検定料振込金証明書 (提出用)</p> <p>※国費外国人留学生は、 入学検定料の納入は不要です。</p>	<p>入学検定料 30,000円</p> <p><納入方法></p> <p>a. Web出願の場合 コンビニエンスストア、金融機関ATM、ネットバンキング、クレジットカードによる支払いを選択できます。方法は、同封の案内を参照してください。</p> <p>b. 郵送・持参による出願の場合 納入方法は銀行振込に限ります。本要項に添付の振込依頼書に必要事項を記入のうえ、「電信扱」が利用できる金融機関（銀行、信用金庫、信用組合、農協、漁協）窓口から振り込んでください（ゆうちょ銀行、郵便局からの振込みはできません）。振込手数料は、志願者負担となります。ただし、北陸銀行本支店からの振込みの場合、手数料はかかりません。振込後、取扱金融機関の領収印が押印されていることを確認し、「入学検定料振込金証明書（提出用）」を入学願書の裏面の所定欄に貼付してください。「領収書（本人控）」は、大切に保管してください。</p> <p>注1. 金融機関の窓口受付終了時刻までに振り込んでください。また、土日、祝日は休業となりますので、注意してください。</p> <p>注2. ATM（現金自動預払機）、携帯電話、パソコン等からは振り込まないでください。</p> <p><入学検定料の返還> 出願書類受理後は、いかなる理由があっても入学検定料の返還には応じません。 ただし、入学検定料の振込後、出願しなかった場合は返還手続きを行うことができますので、下記担当へ平成31年2月28日（木）までに連絡してください。 なお、返還手続きの際は「領収書（本人控）」及び「入学検定料振込金証明書（提出用）」が必要です。</p> <p style="text-align: center;">担当：財務部財務管理課出納係 〒920-1192 金沢市角間町 TEL 076-264-5066</p>
⑤	受験票返送用封筒	本要項に添付の定形封筒に362円分の切手（速達郵便）を貼付し、郵便番号、住所、氏名を明記してください。
⑥	連絡受信先シール	本要項に添付の用紙に郵便番号、住所、氏名等必要事項を記入してください。
⑦	<p>小論文 【様式2-①・2-②】</p>	<p>課題①：「本学入学後に取り組みたい研究課題について」 課題②：「私の考える異分野融合」</p> <p>2つの課題それぞれについて、日本語1,000字程度又は英語600ワード程度で記入してください。なお、小論文の様式については本研究科のWebサイトからダウンロードし、パソコン又はワープロで入力することもできます（補足資料の添付は不可）。</p>

※以下は該当者のみが提出してください。		
⑧	研究、開発業務等の概要 又は実務経験の概要（様式随意）	出願資格（11）により出願する者は、「研究、開発業務等の概要」又は「実務経験の概要」（A4判3ページ以内）を提出してください。
⑨	学士の学位授与証明書等	出願資格（2）により出願する者は、以下のものを提出してください。 [学位を授与された入学志願者] ○独立行政法人大学改革支援・学位授与機構が発行した学位授与証明書 [学位の授与を申請中の入学志願者] ○独立行政法人大学改革支援・学位授与機構が発行した学位授与申請受理証明書 [学位の授与を申請予定の入学志願者] ○短期大学長又は高等専門学校長が作成した学位の授与を申請する予定である旨の証明書（様式随意） ※出願資格（2）により出願し、本研究科の選抜試験に合格した者で、学位授与の申請を行わなかった場合、その他学士の学位が得られないこととなった場合は、その旨を、金沢大学長あてに速やかに通知してもらうよう短期大学長又は高等専門学校長に申し出てください。
⑩	パスポートの写し	外国人の志願者は、パスポート（氏名が記載されたページ）の写しを提出してください。また、出願時に日本に在留している者は、在留カード（表、裏）の写しも併せて提出してください。
⑪	在留カードの写し	
⑫	戸籍抄本等	改姓（改名）により証明書等の氏名が異なっている場合は、変更の事実を証明できるもの（戸籍抄本等）を添付してください。

(3) 出願期間

平成30年6月11日（月）から15日（金）（必着）

※受付時間は午前9時から午後4時30分までです。

郵送の場合も提出期間の最終日までに必着（出願期間最終日の前日の発信局日付印のある速達書留は有効）です。

ただし、「2. 出願資格（6～7ページ）」のうち(6), (9), (10), 又は(11)に該当する者は、「3. 出願資格事前審査（7ページ）」の順に従い、出願資格審査を受けなければなりません。

(4) 提出先

志願者は、「(2) 出願書類等（8～10ページ）」を一括して、出願期間内に到着するよう提出してください。

〒920-1192 金沢市角間町

金沢大学学生部学務課新学術創成研究科係 TEL：076-264-5971

※郵送する場合は、必ず、「速達書留」とし、封筒の表に「大学院新学術創成研究科修士課程入学願書在中」と朱書きしてください。

(5) 出願及び受験にあたっての注意事項

- ① 本研究科を志願する場合は、必ず出願する前（出願資格認定申請を行う場合は、その前）に希望する主任研究指導教員に連絡し、受入れの了承を得てください。
- ② すべての書類に記入漏れがないか確認してください。出願書類に不備がある場合は受理しないことがあります。
- ③ 出願書類の記載に不正があった場合は、入学許可を取り消すことがあります。
- ④ 出願書類受理後は、いかなる理由があっても書類の返却、記載事項の変更及び入学検定料の払い戻しはしません。
- ⑤ 受験に関する注意事項（試験室、試験実施方法等）は受験票とともに送付します。

(6) 障がいのある者等の事前相談

入学志願者で、障がい等があり、受験及び修学に特別な配慮を必要とする者は、平成30年5月18日（金）までに下記の書類を「11. 問合せ先（14ページ）」へ提出し事前に相談してください。

- ① 事前相談書（下記事項を記載、様式随意）
 - 氏名
 - 障がいの種類・程度
 - 受験及び修学に特別な配慮を希望する事項
 - 大学等でとられていた配慮
 - 日常生活の状況
 - その他参考となる事項
- ② 医師の診断書
- ③ その他の参考書類（障害者手帳の写し等）

(7) その他

出願時に卒業又は修了見込みの資格で本研究科に合格した者は、入学手続の際に学生部学務課新学術創成研究科係に成績証明書（最終のもの）及び卒業又は修了証明書を提出してください。

5. 入学者選抜

(1) 試験期日及び場所

期日	試験科目等	試験場
平成30年7月14日（土）	口頭発表	金沢大学角間キャンパス 自然科学系図書館棟
	面接	
	口頭試問	

※各受験者の受付時間及び試験時間は、発送する受験票で通知します。

(2) 選抜方法

試験は、面接方式により以下のとおり受験者1名に対して30分程度で実施します。

- ① 口頭発表
出願時に提出した小論文に関する口頭発表
 - 口頭発表時間は、2課題で合わせて10分以内
 - 発表時、手持ちの紙原稿の使用は認めますが、資料の配布、機器等の持ち込みは認めません。

② 面接

発表内容及び学士課程で行ってきた研究活動等に関する質疑応答（社会人経験者の場合は、実務経験の内容についても問う場合がある。）

③ 口頭試問

受験時まで学んで来た専門分野の基礎的な内容に対し、口頭にて出題具体的な出題分野については、新学術創成研究科 Web サイトを参照すること。

(3) 合否判定基準及び評価基準

判定については、学士課程等で修得した分野の基礎的専門知識及び分野融合による新しい価値を創造しようとする意欲を重視し、小論文、口頭発表、面接、口頭試問の結果を総合的に評価します。

6. 合格者発表

平成30年8月10日（金）16時頃

金沢大学事務局本部棟2階学務課前に掲示及び金沢大学（大学院新学術創成研究科）Webサイトに掲載するとともに、合格者に対し、郵便で通知します。電話等による合否の照会には応じません。

URL : <https://gsinfiniti.w3.kanazawa-u.ac.jp/>

7. 入学手続等

(1) 入学手続

平成30年9月中旬（詳細は平成30年8月中旬に通知予定）

※ 受験票は入学手続時にも使用しますので、試験終了後も大切に保管してください。

(2) 入学時に必要な経費

● 授業料等納付金

入学料 282,000円（予定）

授業料 半期分 267,900円（予定）（年額 535,800円（予定））

※ 前記の納付金額は予定額であり、入学時又は在学中に入学料、授業料が改定された場合には、改定時から新入学料、新授業料が適用されます。

● 学生教育研究災害傷害保険

保険料 2年分 1,750円（予定）

※ 入学手続時に振込により納入する必要があります。

※ 本研究科では、インターンシップを必修とするため、学研災附帯賠償責任保険（2年分 680円）への加入を推奨します。

8. 個人情報の保護

金沢大学では、「国立大学法人金沢大学個人情報管理規程」等を制定し、本学が保有する個人情報の適正な管理と保護に努めています。

本学が入学選抜を通じて取得した個人情報及び入学手続時に提出いただく書類に記載されている全ての個人情報は、次の業務で利用します。

- 入学者選抜及び入学手続に関わる業務
- 入学後の学籍管理, 修学指導に関わる業務及び健康診断等の保健管理に関わる業務
- 入学後の本学ポータルサイト利用, 学内 LAN 利用, 図書館利用及び図書貸出し等の学内サービス業務並びに北陸先端科学技術大学院大学において同様のサービスを受けるための業務
- 入学料免除, 授業料免除, 奨学生選考等の修学支援に関わる業務
- 入学料, 授業料の納入に関わる業務及び収納業務を委託する金融機関での必要な業務
- 入学者選抜に関する個人が特定できない形で行う調査研究業務
- 修了者に対する学習成果等調査 (アウトカムズ, アセスメント), 同窓会活動への支援等に関する業務
- その他, 個人が特定できない形で行う統計処理業務

9. 経済的支援制度

(1) 入学料免除

下記のいずれかの事由に該当する者で, 入学料免除を願い出た者に対し, 選考の上, 入学料の全額又は半額を免除することがあります。申請方法等の詳細は, 合格後に送付される大学院入学手続要項を参照してください。

- ① 大学院に入学する者で, 経済的理由によって入学料の納入が困難であり, かつ, 学業優秀と認められる者
- ② 入学前1年以内に, 学資負担者が死亡し, 又は入学する者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けたことにより, 入学料の納入が著しく困難である者

なお, 入学料免除申請に係る問い合わせ先は以下のとおりです。

〒920-1192 金沢市角間町
 学生部学生支援課学生支援係 TEL 076-264-5164

(2) 授業料免除

下記のいずれかの事由に該当する者で, 授業料免除を願い出た者に対し, 選考の上, 納入すべき学期の授業料の全額, 半額又は一部を免除することがあります。申請方法等の詳細は, 合格後に送付される大学院入学手続要項を参照してください。

- ① 経済的理由によって授業料を納入することが困難であり, かつ, 学業が優秀である者
- ② 入学, 進学前 1 年以内に, 学資負担者が死亡し, 又は入学, 進学する者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けたことにより, 授業料の納入が著しく困難である者

なお, 授業料免除申請に係る問い合わせ先は以下のとおりです。

〒920-1192 金沢市角間町
 学生部学生支援課学生支援係 TEL 076-264-5164

(3) 奨学金

奨学金は独立行政法人日本学生支援機構, 都道府県, 市区町村, 民間の育英団体等が主宰し, 修了後に返還義務が生じる貸与奨学金と返還義務の生じない給付奨学金があります。詳細は, 各団体の Web サイトを参照してください。

日本学生支援機構奨学金には、大学院進学前に大学院入学後の奨学金を予約する「予約採用」と大学院入学後に申し込みを行う「在学採用」があります。「予約採用」の申請手続申請方法等の詳細は、合格後に送付します。

また、新学術創成研究科では、一定の条件を満たす者に対し、独自の給付型奨学金制度を用意しています。修士課程在籍時は、月額5万円を支給します。詳細は、研究科 Web サイトを参照願います。

新学術創成研究科Webサイト

URL : <https://gsinfiniti.w3.kanazawa-u.ac.jp/>

また、外国人留学生を対象として、金沢大学独自の奨学金制度を設けています。詳細については、下記 Web サイトを参照してください。

URL : <http://www.adm.kanazawa-u.ac.jp/ie/j/abroad/scholarship.html>

10. 募集要項請求方法

この募集要項の郵送を希望する場合は、封筒の表に「大学院新学術創成研究科融合科学共同専攻修士課程募集要項請求」と朱書きし、返信用封筒（角型 2 号，205 円分の切手を貼付し、請求者の郵便番号、住所、氏名を明記したもの）を同封の上、下記「11. 問合せ先」に請求してください。

11. 問合せ先

〒920-1192 金沢市角間町
金沢大学学生部学務課新学術創成研究科係
T E L : 076-264-5971
E m a i l : s-yugo@adm.kanazawa-u.ac.jp
U R L : <https://gsinfiniti.w3.kanazawa-u.ac.jp/>

かくま 金沢大学角間キャンパスの所在地略図



- 金沢駅から金沢大学^{かくま}角間キャンパスまでのアクセス（北陸鉄道バス利用の場合）
JR 金沢駅兼六園口（東口）から北陸鉄道バス「金沢大学（角間）」行き乗車
「金沢大学自然研前」下車（所要時間 約 35 分）

詳細については、本学の Web サイトを参照してください。

URL : <https://www.kanazawa-u.ac.jp/>